

平成29年度（弥栄高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

| 項目 | 目標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|-----------------------------|---|--|
| 法令遵守の意識の向上 | 全教職員の法令遵守の意識の向上を図るとともに、生徒・保護者・県民から信頼される教職員としての資質の向上に取り組む。 | 研修・事故防止会議に加え、打ち合わせなどで新聞報道等の実例を示して意識の向上に取り組んだ。 更新手続き未了による教員免許状失効が発生し、生徒・保護者への謝罪と説明を行った。全職員の免許有効性の確認と免許更新の指導を複数回実施し、再発防止を図った。 |
| わいせつ・セクハラ行為の防止 | 人権に配慮し、セクシャル・ハラスメント、わいせつ行為を防止する。 | 研修・事故防止会議等で取り上げ、目標を達成した。 |
| 体罰、不適切な指導の防止 | 生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導の発生を防止する。 | 研修・事故防止会議等で取り上げ、目標を達成した。 |
| 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | 適切な成績処理、誤りのない進路関係書類の作成及び取扱いの徹底を図り、決して事故を発生させない体制整備に努める。 | 研修・事故防止会議等で取り上げ、目標を達成した。 書類の作成・点検方法については、今後の学習指導要領改訂への対応も想定し、引き続き改善を図っていく。 |
| 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 | 適切な個人情報等の管理を徹底するとともに、万全な情報セキュリティ対策の構築に努める。 | 研修・事故防止会議等で取り上げ、目標を達成した。 |
| 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 法令を遵守して交通事故の発生を未然に防止するとともに、全教職員が、決して酒酔い・酒気帯び運転を行わないよう意思の統一を図る。 | 研修・事故防止会議等で取り上げ、目標を達成した。 |
| 業務執行体制の確保等 | 円滑な公務運営を実現するため、適切な業務執行体制を構築するとともに、全教職員間における協力体制を実現する。 | 学科改編・入学者選抜変更に伴う業務多忙化に対応するために、業務内容と体制の見直しを行った。平成32年度の再編・統合に向けて、引き続き改善を図る。 |
| 会計事務等の適正執行 | 会計事務等を適正に執り行い、事故の発生を未然に防止する。 | 研修・事故防止会議等で取り上げ、目標を達成した。 |
| 入学者選抜に係る事故防止 | 入学者選抜に関する業務に適切に取り組み、事故防止に努める。 | 研修・事前打ち合わせ・点検を徹底したが、二年連続した選抜方法の変更に伴う職員配置の検討等が不十分であった。またマニュアルの業務の手順や記載をよりわかりやすく改善する必要がある。 |
| 校長による教職員への面接 | 校長は各教職員に面接を実施したうえ、一人ひとりにおける事故・不祥事防止の取組状況を確認するとともに、不十分な状況が確認された場合は、必要な指導を行う。 | 教職員との個別面接や日常の声掛けを行い、状況を確認するとともに、必要な指導を行った。 また、未然防止のために打ち合わせや職員会議などで、注意喚起を行うように副校長・教頭に指示した。 |

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

- ・ 学校が個別に管理する合否結果通知書・合格通知書・成績通知表・調査書の管理は県民・外部の信頼の上に成立しているものであり、個人情報管理・セキュリティにおいて最重要案件であることを再認識して、事故のないよう取り組む必要がある。
- ・ 人権に配慮した生徒の指導において、部活動など課外活動はもちろん、すべての教育活動において体罰・パワハラ・セクハラ・暴言などが行われないように徹底することは常時取り組むべきことである。
- ・ 適切な会計処理、職員の身分に係る事務事業の円滑な推進とともに、誤りのないよう確認行為を綿密に行う必要がある。
- ・ 風通しのよい職場を心懸け、個人に負担が過重にならないように働き方改革を踏まえた事故防止を、グループごとの事故防止標語の提示により意識的にまた効果的に行う必要がある。